

一般質問 その後を追跡! Vol.17



2020年9月発行 【発行・編集】鷹栖町議会

議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのか。
これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡しました。



今回は **2019年中**の質問を追跡しています。
5月には改選がありました。
この期間の定例会号は議会報 174号～177号です。
「町制施行50周年」を表紙のテーマにしていました。

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

【連絡先】 鷹栖町議会事務局
☎ 0166-87-2111 (内線 302・303)
gikai@town.takasu.lg.jp



鷹栖町のおもてなしとは？

2019年
9月定例会
林川伸二
議員

- ① 歩道縁石部分の雑草対策
- ② 公共トイレのありかた
- ③ 職員の接遇

について、鷹栖町を訪れる人、住む人をどうおもてなしするのか、その考えは。

答弁 訪れた方に気持ちよく町を見ていただくことはプラスになります。

- ① 地域の協力も得られるなら改善策も考え、北海道にも提案していきます。
- ② 洋式化率の低い体育施設や公園のトイレを順次改修します。柔らかいトイレトーパーについては、指定管理施設と協議します。
- ③ 外部評価を取り入れ接遇向上を目指します。



議会報 176号に掲載

追跡! 総合体育館のトイレ 洋式化工事中

- ① 町内会長へのアンケートを実施。組織の設立に向けて協議を進めています。
- ② 総合体育館のトイレを洋式化工事中。体育施設のトイレトーパーについては、利用者への調査の結果、導入を見送っています。公民館等への導入については協議中です。
- ③ 12月～1月のまごころ接遇アドバイザーによる庁内調査では高い評価を受けています。今後も接遇向上に向け、取り組みを継続していくとのことです。

観光振興、今後の取り組みは？

2019年
3月定例会
大石 隆
議員

観光客を増やすことは地場製品の販売促進にもつなびます。観光客誘致の取り組みの考えは。

答弁 観光協会や各事業者と協力しながら、交流人口拡大に向け、観光客の誘致に向けた取り組みを進めていきます。



議会報 174号に掲載

2019年
9月定例会
片山兵衛
議員

観光振興の計画は。事業者の実態を把握し、交流を促進させていく考えは。

答弁 観光振興の方向性は8総、総合戦略で位置付けます。町内事業者の意向を確認し、体験型の観光振興も検討します。観光の土台ができ、これから一番よいところなので期待を。



議会報 176号に掲載

追跡! 新型コロナで様相が一変 今後も観光振興に努める

全国的な観光ブームにより、近隣との交流人口も増加。ジョギングフェスティバル、熱夏フェスタなどには、町外からも多くの人々が来られていました。パレットヒルズは整備も進み、地域おこし協力隊の配備により多くの交流の場が出来つつありました。また、民間による交流人口も増加していました。

しかし、2020年の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、人の行き来が完全にストップする事態となり、今までとは様変わりしています。

今後も、観光振興に努めていく事には変わりありません。



管理棟では地域おこし協力隊による「TAKASU MARCHE」などのイベントも開催されています



パレットヒルズはキャンプ場としても知られるようになり、休日は多くの方が訪れています



鷹栖町の観光情報はこちらから！

たびたかす 鷹栖町総合観光ガイド

鷹栖町観光協会のWebページです



裏面もあります

次期の総合振興計画・総合戦略は？

2019年度は鷹栖町第7次総合振興計画、第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度だったことから、次期に向けた質問もありました。第8次総合振興計画（8総）は第2期の総合戦略の上位計画となります。地方創生を実現するためP D C Aサイクルを強化しています。



8総はこちらで読むことができます！

2019年
3月定例会
青野 敏
議員

第1次総合戦略を踏まえた新たな政策課題と重要業績評価指標（KPI）の設定についての考えは。

答弁 財源が確保できるものについては町民の方にも数値目標等を示し、臨機応変に対応します。

2019年
3月定例会
片山兵衛
議員

- ① 総合振興計画の内部評価を公開する考えは。
- ② 8総策定時に行った講演会やワークショップを策定後も継続していく考えは。

答弁 ① 今後の総括方法など策定委員の皆様とも協議しながら進めていきます。
② 参加者の反応が非常によいと感じています。前向きに検討します。



どちらの質問も
議会報 174 号に掲載

追跡！ 2020年から新たなスタート 8総は評価方法に工夫も

2020年から総合振興計画、総合戦略、それぞれが新たにスタートしています。

第2期の総合戦略は、第1期の成果を引き継ぎ、より一層の磨き上げが必要な分野を明確にしたものとなっています。

また8総に併せ新しい評価方法をスタートしています。内部評価に委員会の外部評価を加え、3年目に中間報告を行う予定です。

国の掲げる「創生基本方針」を踏まえ、ポストコロナを見据え、総合振興計画に沿って推進していきます。新しい生活様式を取り入れた形で事業を柔軟に変化させていくことを考えています。

ワークショップは新たな局面へ

令和2年度、北斗・北成地区をモデル地区として持続可能な地域形成推進事業を実施。2019年まちづくりセミナーを務められた山形県のきらりよしじまネットワーク高橋由和先生を講師に、現在、月1回のペースで未来に向けた話し合いを進めています。



北斗・北成地区では活性化プラン（地区づくりの計画）策定に向けて毎月ワークショップを開催しています。

保育士の待遇面などの整備は？

2019年
12月定例会
青野 敏
議員

より良い保育環境を整えるため保育士の確保が必要。人材確保のため、待遇面などの整備が必要では。

答弁 令和2年度から始まる会計年度任用職員制度も含めた中で、待遇改善を検討します。



議会報 177 号に掲載



質問後、保育園の実態を知るため
青野議員は1日保育園で過ごしました



追跡！ 会計年度任用職員の報酬改善 新規に2名採用し人員解消に努める

近隣の保育園等の状況を調べ、会計年度任用職員（旧嘱託職員）の報酬を、5号俸アップしました。

また、新規に会計年度任用職員を、4月と7月に1名ずつ採用し、人員不足の解消に努めています。

コロナ禍のなか、子供たちを預かる職員には大変な苦勞を強いていますので、今後も職場環境や待遇の改善を検討していきます。



子育て世代の移住対策は？

2019年
12月定例会
桑原芳文
議員

- ① 今後の空き家バンク認知度向上の取り組みは。
- ② 住宅建築支援等補助金関連条例、期限切れ後の対応は。

答弁 ① 各種通知の際に空き家バンク制度の案内や流動化に向けた相談会を実施。空き家調査員の養成事業を開始します。
② 補助金の必要性やまちづくりの将来像を踏まえ、前向きに答えを出します。



議会報 177 号に掲載



追跡！ 空き家バンクは順調 補助事業の有効期限を延長

① 空き家バンク登録による成約は、部署の横断的連携を強化し順調に進んでいます。空き家調査員養成研修会も3回開催し、10名が修了しました。

② 移住者対策の各種補助事業は、基本額や加算項目を見直し、新たな事業として取り組みを開始しました（～令和4年度まで）。

民間アパートの建設に対する補助事業は令和2年度に住生活基本計画を策定する経過措置として1年間延長しました。

（令和2年第1回定例会 議会報 178号に掲載）



講師の高橋由和先生は農村地区の地方創生第一人者
8総策定時のワークショップでも講演をされています

